

議の会 だより

第201号 令和5年4月



一般質問

第1回定例会(令和5年3月)
▼3名の議員より一般質問がありました
今回の一般質問の様子は、
上士幌町議会ホームページ
第1回定例会3月22日(水)
【午前分】から視聴できます



山本 和子 議員

**「命・暮らし・生活を守る」
ことを予算の基本に**

問 最近の事業を見ると、国の補助金を活用した大型事業であるデジタル化、自動運転バスなどがあるが、町民の幸せにつながるのか疑問もある。今、物価高騰で大変な方が多い中、基金を活用して「命・暮らし・生活を守る」ことを予算の基本にするべき。

答 デジタル化などへの活用は、将来の上士幌町に必要な施策、課題解決として率先して取り組んでいる。町民の生活を支えることは行政の基本であり、適時適切な施策を講じている。

○録画中継3月22日【午前分】2分頃～

問 財政状況を見ると、比較的自由に使える基金が増えている。地方債(借金)も増えているが、国からの交付税措置があり、償還は令和八年度をピークに下がり、比較的健全な財政運営だと思いが。

答 議員指摘のとおりである。今後の大型事業である役場庁舎改修に必要な財源として、基金も確保しており、現状では、将来の様々なコストを含めても心配するような状況ではないと考えている。

問 将来、五年、十年先にわたって、この大事業がどう活かされるのか、持続する町づくりはなかなか見えてこない。今現在、大変な方々の生活を支えるために基金を活用し、生活支援金などの施策を行うべきである。

答 通常ではない世界情勢の中で、本当に困っている方への社会保障など、総合的な視点の中で施策を講じている。今、お金があるからではなく、必要なものに必要事業をしっかりと打ち出していく。



●有効活用できるのか、
自動運転バス

脱炭素やSDGsを柱とした町づくりの時代に向け、高齢者が様々な仕事や生活で工夫して来た経験などの声を活かし、町づくりに反映することについて



江波戸 明 議員

問 高齢者がいつでもほっこり集う事が出来る場所づくりについて。

答 「わっか」は、計画時から高齢者と十分な意見交換をして建築したが、施設の利用等に不都合があるとなれば意見を聞き、対応を考える。

問 高齢者は男性を中心に出不精気味になっている。誰でもほっこり集いやすい、町独自の「公民館的」場所を検討し、専任の支え合い等の人材を配置することについて。

答 「わっか」は、公民館類似施設としてほぼ同様の機能を持っており、高齢者や若者も集えるような仕掛けづくりが必要である。お母さん、若い世代達からも、集う場所がなく、欲しいということをおっしゃっている。そうした意味でほっこり

○録画中継3月22日【午前分】58分頃～

りとした「わっか」などについて、教育委員会の宿題である。

問 高齢者に係る町づくりの原則として、社会的な孤独を無くすること、一人暮らしでも安全だといふほっこりできる町について。

答 町中に独り暮らしのお年寄りがどの様に住むべきかなどや、一人も取り残さない町を根本的に目指すことであり、この環境をどのようにつくるかが、今後の町の重要なテーマにつながると考える。

問 この地域に住み続けることへの不安は、医療や雇用などの生活を支える基盤が弱いとされている。今後の高齢化の対応について。

答 病院へ行くための課題として、交通対策のタクシード割補助など、高齢者の不安や足りないところを重要視しながら対策を講じる。

問 高齢者が培ってきた様々な経験や、知恵と認識を活用した町づくりへの参画について。

答 このことは重要なことで、町の予定される計画には、町民参加型で広く意見を求め、そのメンバーに高齢者の参加を想定している。



●生涯学習センターわっか

今後の新型コロナウイルス感染症対策について

山本 和子 議員

問 新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられると、医療費など自己負担が大きくなり、検査や受診の抑制を招き、私達の健康を脅かし感染防止にも逆行する。国に対し「新型コロナウイルス感染症の検査・治療・ワクチン」の公費負担を要望するべき。

答 全国知事会において医療費の公費負担、保健・医療体制、基本的な感染対策など「五類」への変更に伴う課題について具体的な方針、万全対策を講じるように国に求めている。

問 町として、「町民の命・健康を守る立場」から各種施策を講じるべきである。例えば、希望する方や必要な方へのPCR検査の実施助成。後遺症などの相談窓口の設置。医療機関、介護施設などの要望に沿った支援など実施するべき。

答 PCR検査への助成は、令和二年より実施している。「無症状の方」や医療施設、介護施設職員等のPCR検査費用の助成を引き続き実施していく。後遺症に対しては、現時点で確立した治療法がないことから、対処療法が基本となつて

長年の功績を讃えて

3月7日、議場において全国町村会議長会表彰規定による自治功労者表彰の伝達式を行いました。このたび、議員在職27年以上の功績により、杉山幸昭議長が表彰されました。



▲表彰を受ける杉山幸昭議長

いる。ふれあいプラザに設置しているコールセンターによる相談対応など、調整を図っていく。
問 国の方針は新聞やマスコミ等で報道されているが、町民に直接わかりやすい情報を知らせるべき。
答 広報での周知はもちろんだが、保健福祉課、保健師、ふれあいプラザに行けばわかるという環境、体制をしっかりとやっていきたい。

ぎが、日誌

令和5年1月～3月

【1月】 11日◆役場庁舎等整備調査特別委員会 ◆議会だより編集特別委員会 18日◆総務文教厚生常任委員会	【2月】 3日◆議会運営委員会 10日◆議員協議会 22日◆総務文教厚生常任委員会 24日◆総務文教厚生常任委員会 産業経済建設常任委員会 27日◆議会全員協議会 役場庁舎等整備調査特別委員会 議会だより編集特別委員会	【3月】 2日◆議会運営委員会 7日◆第1回定例会(1日目) 8日◆役場庁舎等整備調査特別委員会 ◆議員協議会 ◆議会運営委員会 9日◆予算審査特別委員会(1日目) 10日◆予算審査特別委員会(2日目) 14日◆総務文教厚生常任委員会 ◆産業経済建設常任委員会 20日◆議会運営委員会 22日◆第1回定例会(2日目) 23日◆第1回定例会(3日目)
---	--	---

もっと町民に愛される「道の駅」に向けて



中村 哲郎 議員

開業して約3年が経過した道の駅。町民からは高いとか普通にそばやうどんが食べられないのはなぜか、といった質問が絶えない。しかしその一方で、町民が好んで利用でき、活気ある道の駅を望む期待の声も少なくない。

問 このような状況について町はどのように考えているのか。

答 本町の道の駅は「ゲートウェイ型」として町外から多くの来訪者呼び込み、町内商店街や観光施設等に誘導することを目的としており、その目的の達成のためには指定管理者の裁量が重要と考えている。入込数は増加しており、民間調査の魅力度でも高い評価を得ている。飲食メニューについては町内飲食店との差別化を図りつつ、町内飲食店への誘導を意識した運営を行っている。また、新たな取り組み

○録画中継 3月22日【午後分】0分頃～

としてDMO協議会が本町の特色あるグルメ開発を計画。更に今年度は、町内業者がそばやラーメン等を提供できるイベントを不定期ながら開催し、町民のニーズに定める企画運営を行った。

問 町民が望んでいるイベント開催における出店料が障害になっているとの意見もあるがどうか。

答 町民と来町者との交流や地域物産等については、生産者と消費者を繋ぐという観点からも事業計画の中で検討していきたい。使用料については、施設の条例や経営の観点からもご理解頂きたい。ただ、たくさんの方に来て頂きたいので、筆頭株主として指定管理者に町民の意向に沿うよう申し入れしたいと思っている。



●道の駅 かみしほろ

用語解説

「DMO協議会」とは・・・本町におけるKAMISHIHORO.netであり、事業の合意形成を図るため、3部会において商品開発、イベント企画検討、SDGsの取り組みをサステナブルツアーとしてプラン作成など、事業推進するもの。

役場職員の働き方とケアについて

中村 哲郎 議員

今年度、役場職員が多数退職したことが話題になっている。理由がどうあれ、辞めるということは、その職場が合わなかったということに他ならない。これを単に個人の自由とか仕方ないということでは済まさないで欲しい。退職は、人材不足の昨今において非常にもったいないことであり、若手であれば尚更である。今や働き方は多様化しており、雇う側はそれを敏感に感じ取る必要があると考える。職員の働き方やケアについて町はどのように考えているのか。

問 職員研修等はあるのか。

答 単独では難しいので、自治体関係の研修制度を採用しており、その中で立場に応じた研修がある。

問 年俸制、成果主義や部下が上司を、あるいは他部署職員が評価するような制度はあるか。

答 現在は自己評価と上司の評価で人事評価を行っている。

問 個人的なヒアリングでは、特に若い人は成果主義に対して否定的ではなかったが、それがギャップ

の一因だと考えられないか。

答 恣意的や好き嫌いの問題もあり、このような少人数でチームワークを重んずる職場では、急ぐ必要はないと考えている。

問 特に課長職や今回退職した方々は有給休暇をきちんと取得しているか。

答 常に年間20日間に有給休暇を取得している課長は、実際そういないと思う。今後、働き方改革や少子化対策における育児休暇の枠組みと共に重要な要素となりうるので十分に対応していきたい。

北海道バルーンフェスティバル第50回記念大会に向けて

中村 哲郎 議員

2月のバルーンミーティング、3月のバルーングロウ、ドローンショーにおける経験を活かして、バルーンフェスティバル第50回記念大会をより良い大会にすべき。

問 来場者への競技内容等の案内は十分だったか。

答 航空公園の場内アナウンスや看板で来場者を誘導したほか、町のHPや広報誌等でも事前に案内を試みたが、より充実を図りたい。

問 イベント会場での食べ物の提供が間に合っていないとの声もあったが。

答 イベント会場の変更は今回初めて効果的であったと認識。更に満足して頂けるよう検討する。

問 ドローンショーのプログラムが以前のクリスマスショーに比べて迫りに欠けるとの声も多かったが。

答 今回の開催経費の大半は、観光振興への寄与を目的とした社会貢献の一環として、民間企業にご負担頂き、その予算の中で制作している。また、バッテリーの問題もあり時間が短縮している。更に、機材の不具合も想定されたことから1回の実施となった。

問 駐車場が少なかったのでは。

答 キャンプ場と町民球場とで約750台用意したが、不十分だったので、夏は滑走路も臨時駐車場とすることを検討している。

問 GCF(ガバメントクラウドファンディング)は機能したか。

答 今回は想定した成果に至らなかったが、返礼品の有無や周知方法等が要因であり、改善すべきと考えている。

用語解説

「GCF」とは・・・自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の使い道をより具体的にプロジェクト化し、共感した方から寄付を募る仕組み。

令和5年第1回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】令和5年3月7日～3月23日(17日間)

※主な結果を掲載しています。

【議員の出席】
3月7日出席11人・欠席0人
3月22日出席11人・欠席0人
3月23日出席11人・欠席0人

Table with columns: 議案番号, 件名, 議決年月日, 表決, 議決結果. Contains 20 items of council resolutions and their outcomes.

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
31		○		上士幌町自治体 DX に関する全体方針の策定	2/22
32		○		上士幌スマートタウンの推進	
33		○	デジタル推進課	ヒト・モノ MaaS 推進事業 / 自動運転バス運行事業	
34		○		かみしほろルーラル OS / かみしほろスマート PASS 推進事業	
35		○		かみしほろテレワーク推進事業	
36	総文	○	企画財政課	生涯活躍のまちの取組	2/22
37		○		コミュニティバス運行事業	
38		○		ふるさと納税の取組	
39		○		上士幌町地球温暖化対策実行計画	1/18
40		○	ゼロカーボン推進課	上士幌町ゼロカーボンの推進	2/22
41		○		SDGs の普及・推進に向けた取組	
42		○		上士幌町一般廃棄物処理基本計画の策定	2/24
43			町民課	上士幌町生活系生ごみ減量化等推進事業	
44				上士幌町葬斎場火葬炉補修事業	
45		○		上士幌町公園整備等基本構想	2/24
46	産経		建設課	除雪車両車庫整備事業	
47				令和5年度定住促進対策事業	
48	総文		総務課	個人情報保護制度の改正	2/24
49				旧東居辺小学校の減額貸付	

◆行政側報告事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文	○	町民課	十勝圏複合事務組合の新中間処理施設整備に係る費用負担	2/24
2		○		北十勝2町環境衛生処理組合最終処分場の嵩上げ	
3			保健福祉課	第3期上士幌町健康増進計画・自殺対策行動計画中間評価	3/14
4	産経	○	商工観光課	道の駅かみしほろの運営	

◆その他

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1		○	所管事務調査	上士幌高等学校の振興の調査に関すること	1/18
2	総文		付託事件審査	上士幌町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	3/14
3				上士幌町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	
4				上士幌町情報公開及び個人情報保護審査会条例の制定について	
5				上士幌町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	

総文とは：総務文教厚生常任委員会のこと。
 産経とは：産業経済建設常任委員会のこと。
 公開とは：各委員会の所管事項について、異なる委員会の委員も参加し、審査・調査等すること。

議会だより
編集特別委員会

委員 副委員 議長
 員員員長長
 馬山小中杉
 場本椋村山
 敏和茂哲幸
 美子明郎昭



3月23日、昨年11月に行われた議員道外研修を基に作成された政策提言書が正副議長及び議会運営委員会から町長に手渡されました。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決結果
議案第21号	令和5年度上士幌町下水道事業会計予算 ※令和5年度予算の詳細は、広報かみしほろ4月号(先月号)「まちの予算」をご覧ください。	3月23日		原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について⇒荒井登喜子氏の推薦について適任とする	3月7日	賛成10 反対0	適任
同意第1号	監査委員の選任について⇒大戸正義氏の任命に同意	3月23日		同意
同意第2号	監査委員の選任について⇒根本広実氏の任命に同意			
議案第22号	令和4年度上士幌町一般会計補正予算(第10号)⇒4183万3千円を追加し、95億1156万円に補正	3月23日		原案可決
監報告第1号	例月出納検査報告について⇒検査した結果相違ないことの報告		-	報告済
監報告第2号	財政援助団体等監査報告について⇒上士幌町社会福祉協議会の事務手続きが適正に執行されていたことの報告		-	報告済

常任委員会開催状況

令和5年 1月～3月

◆行政側協議事項

No.	主催	公開	主管課	テーマ	日付
1	総文	○		移住促進・二地域居住事業	2/22
2			商工観光課	上士幌ゴルフ場利用促進事業	2/24
3				商店街活性化対策事業	
4				かみしほろバルーンスタンプ協同組合補助金	
5				上士幌町農林商工等連携・ビジネス創出促進事業	
6				上士幌町無料公衆無線 LAN 環境整備事業補助金	
7	産経			上士幌町事業継承支援事業補助金	
8		○		新型コロナウイルス感染症経済対策	
9		○		DMO 推進事業	
10		○		北海道バルーンフェスティバル開催事業	
11		○		道の駅指定管理	
12				ぬかびら源泉郷スキー場の支援	
13		○		保健福祉課	
14			令和5年度母子保健事業の拡充		
15			带状疱疹任意予防接種の実施		
16			上士幌町重度心身障害者及び母子等年金条例の一部改正		
17	総文		三愛介護サービス事業給付条例の一部改正		
18			介護従事者定着及び介護労働環境改善支援事業		
19			高齢者等在宅介護支援事業		
20			上士幌町国民健康保険条例の一部改		
21			上士幌町国民健康保険税条例の一部改正		
22			令和5年度新型コロナワクチン接種		
23	産経		農林課	農地利用効率化等支援事業に係る予算補正	2/24
24				居辺地区集中バイオガスプラントに係る指定管理	
25				十勝ナイタイ和牛「極」プロジェクト事業	
26				ナイタイ高原牧場利用促進支援事業	
27				ナイタイ高原牧場に係る指定管理	
28				道営農道整備特別対策事業の実施	
29				林業振興関係事業等の継続実施	
30				上士幌町未来につなぐ緑の森基金の活用	